

Asia Food

「食」業界のアジアへの事業展開を支援する
唯一のネットワーク。

AFBA Monthly

VOL.44

2017.2.14

発行人：田中秋人
編集長：渡辺 幹夫
編集：会員サービス向上委員会
一般財団法人アジアフードビジネス協会事務局
〒104-0045東京都中央区築地1-9-5 一九堂ビル5階 (株) アジア戦略本部内
•TEL：03-3524-8080 FAX：03-3524-8125
E-Mail info@asiafood.jp Web Site http://asiafood.jp
Facebook https://ja-jp.facebook.com/asiafoodbiz



目次

- P.1～P.2 新春交流会報告
- P.3 会員サービス情報
- P.4 新規会員紹介
- P.5 交流勉強会報告
アジア「食」に関する新着ニュース
編集後記
- P.6 交流勉強会案内 (3月)

◆活動報告

2017年新春講演会・交流会のご報告

アジアフードビジネス協会2017年新春講演会・交流会が2月1日にアジュール竹芝にて開催されました。当日は講演会、プレゼンテーション及び交流会の三部構成で開催されました。

講演に先立ち田中理事長より2017年度は定例セミナー、交流勉強会及び海外視察ツアーを益々充実させ、会員相互の連携が深まるような事業に力を入れて行くとのお話がありました。



◆第一部 講演会 第一講：「アジアのサービス産業の最新情報」ジェトロサービス産業部長 北川浩伸氏

北川氏からは下記の情報提供がございました。
① アジアはこれからも成長が見込める地域であり、今では進出企業数では非製造業が製造業を上回っている。しかしながら、飲食業の進出についてはタイではすでにピークを過ぎており、競争の激化により、進出した飲食業の50%は一年で撤退している。ジェトロもこのような状況も踏まえてアジア進出のお手伝いをしたい。
② 海外でのテストマーケティングを実施している。2016年11月にはベトナムにおいてコンビニ(ファミマとミニストップ)とのコラボで売れ筋商品(冷たくて甘いアイスクリーム、小遣いでも買える駄菓子)を把握した。2017年4月にはシンガポールでセブンイレブンとのコラボでテストマーケティングを予定している。

③新しいデバイス(スマホ、ウェアラブルカメラ、スカイプ等)の利用による時間節約、経費節減、お客様動向の把握などが可能となった現状においては日本の優秀な技術をもった会社同士が連携をして海外進出を図るべきである。その為の人的交流の場をアジアフードビジネス協会と共に提供して行きたい。

又、インバウンドやアウトバウンドによるグローバル化が叫ばれているが、内なる国際化(海外人材の日本国内での育成)がサービス産業にも求められている時代が到来していることをお伝えしたい。

北川氏は2月末にベトナム・ハノイのジェトロ所長として赴任されるので、日本でのグローバル実践塾は暫く休止になりますが、ハノイで講演やイベントを企画するので是非ご協力下さいとのメッセージで講演を締めくくられました。



第二講：「がっせん寿司の海外展開」(女性の活躍)RDCホールディングス代表取締役 久志本京子氏

久志本氏からは中国や韓国での「がっせん寿司」の女性の活躍を動画で紹介しながら下記のお話を頂きました。

- ① Reasonable, Delicious, CustomerがRDCの由来。手の届く贅沢(1,000円～2,000円)を提供しながら日本のサービス精神(笑顔、がっせん承知、申し訳ありません)を海外で再現し、評価を得ている。
- ② 業態は50%が回転寿司でその他(とんかつ、ラーメン、イタリアンパスタ、有機野菜レストラン等)が50%である。国内320店舗体制で海外進出を目指した動機は日本食の美味しさときめの細かいサービスを世界に広め、世界で一番の日本食外食産業になりたいとの夢と希望からである。
- ③ 現地の安価な厨房機器を調達したが、2～3年で壊れた経験から日本企業の厨房機器を使っている。日本企業とのコラボで海外に進出する重要性を実感している。
- ④ 上海は資本効率が良い。日本で2店舗を作る資本で中国では11店舗作ることができた。売上は韓国の方が大きい保証金が多額なので、投資効率は悪い。
- ⑤ 店舗展開地域と食材調達地域として環太平洋計画を立てた。例としては食材としてはエビの養殖(フィリピン、後に撤退)、養殖マグロの調達(オーストラリア)、セントラルキッチン(シンガポール)がある。
- ⑥ 海外では女性の活躍が著しいので、日本はアジアから学ぶことは多い。又、人材育成としては社内転勤という形で上海から1年間日本で勤務し、経験を積んだ上で上海に戻って幹部候補生とする取組みがある。最後は人材育成事業(和食人材プラットフォーム)の紹介をして講演を締めくくられました。

政府・自治体・公的機関情報

関西サービス産海外展開支援プラットフォーム 海外展開シンポジウム

- 日時
2017年2月20日(月曜) 15時00分～18時30分(受付：14時30分～)
- 場所
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム1+2 (大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪北館 B2階)
- 内容
15:00～15:05開会挨拶
ジェトロ大阪本部 本部長 藤井 真也
15:05～15:15 共催団体挨拶
近畿経済産業局 産業部長 花内 美佐子氏
15:15～15:25 来賓挨拶
一般社団法人 大阪外食産業協会 会長 藤尾 政弘氏
(一般社団法人 日本フードサービス協会 理事 / JF近畿ブロック協議会 会長 / 株式会社フジオフードシステム 代表取締役社長)
15:25～16:25 基調講演
ロイヤルホールディングス株式会社 代表取締役 会長(兼) CEO 菊地 唯夫氏
(一般社団法人 日本フードサービス協会 会長)
16:25～16:40 休憩 16:40～18:10 パネルディスカッション「サービス産業の海外展開と人材活用」
進行：ジェトロ・サービス産業部 部長 北川 浩伸氏
■パネリスト：
【観光】株式会社 スーパーホテル 常務取締役 海外事業本部長 山本 健策氏
【外食】株式会社 シマナカ 代表取締役 嶋中 隆治氏
【外食】株式会社 ヤムヤムクリエイツ 代表取締役 大串 和也氏
【美容】株式会社 レスイズモア 取締役 会長 西村 徹也氏
【教育】株式会社 サカモトセミナー 代表取締役 坂元 英雄氏
18:10～18:30 質疑応答
■主催・共催
主催：ジェトロ大阪本部 / 共催：近畿経済産業局、関西経済連合会、大阪商工会議所、中小機構 近畿
■協力
大阪外食産業協会、日本フードサービス協会
■参加費：無料
■定員：150名
※定員に達し次第、締め切ります。
◆申込締切：2017年02月17日(金曜) 12時00分
◆詳細、お申込はこちら
<http://www.jetro.go.jp/events/osa/ab9c08a87c4fb979.html>